

園芸療法

デイサービスセンター ラシーナ

取り組みの背景と課題

- ▶ デイサービスでは様々なADLの利用者が混在するため活動では皆が一緒の内容で行うことが難しいこともあります。そのためすべての利用者が一緒に取り組んで行えることを探してみました。



取り組みの目的

目的はデイサービスの利用者が（認知症の方もそうでない方も）野菜やお花などの成長を一緒に感じる事ができたらどのような効果があるのかを1年間の取り組みとして「園芸療法」を行うことにしました。

園芸療法といってもどうしたらいいのかわからない為、専門の講師の方に話を聞き方向性を2つに絞りました。

①園芸に興味や関心を持ち誰でも参加できる。

- (1) 受け身の参加（受動的）
- (2) 自発的な参加（能動的）



②エピソード記憶で思い出に残る。

・収穫だけを楽しむのではなく過程も楽しむことし失敗や成長を利用者皆で共有することで長期の記憶に残るよう取り組む。



①

園芸に興味や関心を持ち誰でも参加できる。

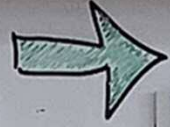
- (1) 受け身の参加 (受動的)
- (2) 自発的な参加 (能動的)



具体的な取り組み内容

園芸コーナー

ビフォー



アフター



草とり



種イモのカット!
どの角度でカットしようか?



灰をつけて腐らないように!!



▶ビフォー



▶アフター



何を植えようか？？？





1人では出来ないことでも



部屋の中の人 は ・ ・ ・ ?

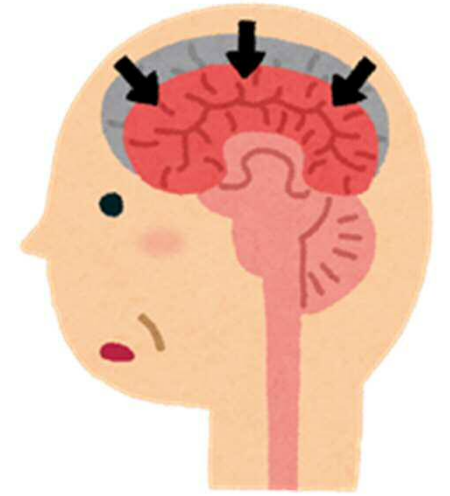


収穫した野菜は・・・？



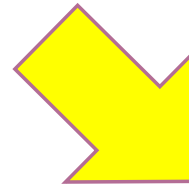
②

エピソード記憶で思い出に残る。



収穫だけを楽しむのではなく過程も楽しむことし失敗や成長を利用者皆で共有することで長期の記憶に残るよう取り組む。

キュウリの収穫で取り忘れたものが . . .



雨の中での体験です！！！！



まあ～！！
すごいじゃない
の！！と室内からも
外の様子を見て参加
されていました。

11 住み続けられる まちづくりを









結論・成果



- ▶ ①利用者間のコミュニケーションが広がり成長過程で病気になったことなど議題に取り上げ自発参加することができた。



- ▶ ②外に出て植物の成長に触れ心のリフレッシュができ笑顔が増えた。



- ▶ ③一人では難しい作業も（草取り・耕す・土寄せ・種まき・間引き・収穫など）作業分解をすることで他利用者と協力して行えた。



- ▶ ④SDGsへの取り組みができた（野菜をみんなで食べたり、一人暮らしの方に販売できた）

新たな取り組み予定



- ▶ ①SDGSへの取り組みを継続していく。（季節ごとの草花を手工芸などに生かしていく）



- ▶ ②自発的な参加が出来る安全な環境作り。

- ▶ ③それぞれの利用者が役割を持てる園芸療法。



- ▶ ④新たに果物の苗を植えて成長過程を楽しむ。

